

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果(公)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関の入り口部分が未整備の為、木製の台をスロープの代用で使用している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			PDCAサイクルを心掛け、毎週ミーティングを行っている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	早急に第三者委員会の設置が望ましい
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			OJT OFFJT等で研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティング時に全員の意見を取り入れ活動内容を決めている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			室内・感触・音楽活動、身体外遊び、日生訓練等日替わりで取り入れ、内容が固定しないように工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			土曜日、休日、長期休みの一日利用の日は午前と午後に分けて活動を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			昼礼時に役割や活動内容の確認を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			記録入力時に情報を共有し確認を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			未入力のチェックを行い、漏れがないように徹底している。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			ミーティング時に全員の意見を取り入れて行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	現在、受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			担当相談員からの情報提供等により、共有と相互理解が出来ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			利用者が併用している事業者間で支援に関する共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	コロナウイルスの影響により交流の機会がない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			地域の社会福祉協議会の行事に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	コロナウイルスの影響により、実施できていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に丁寧な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時や連絡帳等により行い、必要に応じて事業所内相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	コロナウイルスの影響により、実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談苦情解決委員会を設置し、迅速に対応できる体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			おたよりを毎月発行し、行事予定や連絡事項等の情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	○			取扱いには十分注意し、周知徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡帳や情報共有ノート等により配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	コロナウイルスの影響により、実施できていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			事故防止委員会、防犯防災委員会、感染症対策委員会により、マニュアルが作成されている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			消防職員立会いのもと避難訓練を定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待・身体拘束防止委員会により対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			重要事項説明書にて説明行い、同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	該当利用者無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			些細な事柄であってもヒヤリハット報告書を作成し、情報を共有し問題点を協議している。